

小千谷地区納税貯蓄組合連合会優秀賞

税の仕組みを知ってからの考え

長岡市立川口中学校

三年 櫻井 暢

まず初めに私が税について考えたことですが、私が知らなかった税で入湯税というものがあるということでした。この作文を書き進める上で税金について知識を深めたいなと思い調べてみました。温泉の利用者に負担してもらおう地方税のことで、鉱泉浴場をもつ市町村が主に観光施設や消防施設などの整備、そして観光キャンペーンなどの費用へと充てるために使われているようで、単純にいえば、町の環境や景観を維持し、整えるためのものだと思います。調べて考えてみて温泉などの入浴施設に行き、地域をよりよくするためのお金を払って湯で体を癒すというのは、利用者にとってみたら市町村ごとに変わってくるとは思いますが、一人一日百五十円を標準とされていることもあり、私は意外と良心的な税なのかなという風に思いました。もちろん、全国各地の温泉めぐりをしている人や、ある地域の温泉が好きで、入らずにはいられない人も、中にはいるのかもかもしれませんが、温泉をあまり利用しないといった人からすると、あまり支払う機会がない税ではあるのかなという風に感じます。

しかし、使われ方が様々な施設の整備や観光キャンペーンという

地域振興のための使われ方をしているため、そのための税を温泉利用者から払ってもらうというのは、どうなのだろうかと考えます。温泉が近場にあると、いつでもいけるから、わざわざ行かなくても大丈夫、理由は様々ですが、行かなくなるものではないでしょうか。こうなると、利用者は他の市や他県から来た人や、その地域の行きたいと思っただけの少数の人となると思います。お盆休みなどの長期間の休みであれば、近場でゆっくりしたいと思いつく人もいるかもしれませんが、土日などの休みであれば、多くの人が訪れるとは限りません。長くなってしまいましたが、自分達の地域を自分達で盛り上げることができているのかという事です。地域振興のための税を地域住民から集めたら、実際に施設の設備などの工事を行っているのを見かけたときなど、自分達が地域をつくっていることを実感する人も増えると思うのです。また、入浴施設で払う税ということは、名湯と呼ばれる温泉と、あまり繁盛していない温泉とでは格差が生まれてしまうのではないかと考えます。

最後に、今回税について色々考えてみて、知らなかった仕組みで成り立っていたことに驚きました。いまままで気にも留めなかった内容をこういった形で調べて、一から考えることができて良い体験になったと思います。これからは、税金と同じようにどういう仕組みで成り立っているのかなどをしっかりと自分から考えるようにしていきたいです。